

堤防除草の出来形測定等に於ける器具の工夫について

工事名 令和6年度 関川・姫川堤防管理作業
工事場所 高田河川国道事務所、糸魚川出張所管内
会社名 (株)レックス
発表者 山口 満

はじめに

本作業は、関川及び保倉川、姫川直轄管理区間の堤防除草を行っており、除草前の草丈寸法、除草後の刈取高、法長などの出来形写真撮影時には、スタッフ、黒板、検測用テープを持つ作業員が必要であった。常に2人で写真撮影をしていたが、1人での撮影ができないか考察した。

概要

出来形寸法は、草丈が伸びない間に写真撮影を行う必要があり、人員が確保出来ない場合は、規格値以内での写真撮影が困難となるので、独自にスタッフ、黒板立て、テープ留め金具の作成を行い、1人で写真撮影が行える様にする。

方法

使用するスタッフ、黒板、テープの寸法を測り鉄工所に依頼し、スタッフ、黒板立て及びテープ留め金具を作成する。又、空石張り法面では三脚を改良したスタッフ立てを考案した。

・スタッフ、黒板立て作成



・検測用テープ留め金具の作成



・ 使用状況



従来での写真撮影



スタッフ、黒板立て設置状況



改良後写真撮影



テープ留め金具活用状況

・ 空石張り法面での三脚使用



スタッフ取付部の改良



スタッフ取付部設置



スタッフ取付状況

結果

草丈寸法、刈取高寸法、出来形寸法（法長）が1人で撮影出来る様になった。

考察及びまとめ

刈取後、直ちに出来形の写真を撮影を行う事が可能になり、規格値及び社内規格値を確保した。又、2人での作業が1人で行えた為、作業人員の削減にもなった。